平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名　福島工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　6420　URL　http://www.fukusima.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 福島　裕
問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部　部長　(氏名) 日野　達雄　TEL 06-6477-2011

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,839	18.5	527	30.1	580	44.3	273	65.0
23年3月期第1四半期	7,460	13.2	405	49.3	402	40.3	165	9.0

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　318百万円　(181.0%)　23年3月期第1四半期　113百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	25.81	―
23年3月期第1四半期	15.07	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	33,483	19,634	58.3	1,843.91
23年3月期	33,748	19,559	57.7	1,836.68

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　19,533百万円　23年3月期　19,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	23.00	23.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		0.00	―	23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,843	14.0	1,331	19.3	1,361	22.1	618	12.7	58.37
通期	35,918	2.8	2,154	△10.0	2,190	△9.3	1,034	△16.2	97.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	11,033,080 株	23年3月期	11,033,080 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	439,347 株	23年3月期	439,347 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	10,593,733 株	23年3月期1Q	10,997,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」、および本日同時開示しております「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報……3
２．サマリー情報（その他）に関する情報……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示……3
３．四半期連結財務諸表……4
（１）四半期連結貸借対照表……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書……6
（３）継続企業の前提に関する注記……8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……8
（５）追加情報……8

【定性的情報・財務諸表等】

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、３月１１日に発生した東日本大震災により、東北、関東を中心に甚大な被害が出たことで、サプライチェーンの寸断とともに製造業をはじめとする生産活動が停滞するなど、回復基調にあった国内経済は先行きの不透明な状況となりました。

当企業集団を取り巻く環境は、流通産業では、外食から内食へ消費がシフトするなど、震災直後の自粛ムードから徐々に消費に回復の兆しが見えつつあり、個人消費は引き続き低調ながら、利便性に優れたコンビニや消費者の生活を支える食品スーパーの売上が堅調に伸びております。また、外食産業では、震災による自粛ムードや所得環境に不安を抱える消費者の生活防衛意識から、外食を控える傾向が強くなり、大変厳しい状況となりました。また、夏季の節電による影響は依然として不透明であり、今後も予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当企業集団は、独自の食品安心技術とトータルソリューション力で安全・安心・おいしい・健康な食生活を生活者に提供し、企業理念に掲げる「幸せ創造企業」の実現に向けて取り組んでまいりました。

冷凍冷蔵庫販売では、消費者の需要が外食から内食へと変化し、外食の売上の低迷や先行きの不透明感から飲食店の設備投資が抑えられ、汎用業務用冷蔵庫の売上は減少したものの、トンネルフリーザーの売上が伸びたことや、病院・老健施設・学校給食など外食以外の顧客拡大に注力し、病院や宅配食のセントラルキッチン等へ大型のブラストチラーの売上が伸びたことなどから冷凍冷蔵庫販売の売上は堅調に推移いたしました。さらに、横型冷蔵庫をフルモデルチェンジし、当社従来品比３７％の大幅な省エネを実現した新製品を市場投入いたしました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、地域の食を支える食品スーパーの売上が堅調に推移したことから設備投資も増加傾向にあり、業界トップクラスの省エネショーケースと独自の省エネ制御システムを積極的に提案し、オープンショーケースの売上が堅調に伸びました。また、インバータ冷凍機内蔵型アイランドショーケース IE シリーズを発売し、省エネ製品のラインアップを充実いたしました。

サービス販売では、節電対策による省エネ需要が高まる中、製品寿命を延ばし、効率的な運転を維持するサービスメニューの提案を引き続き行ってまいりました。また、空調も含めた厨房内の機器を一括でメンテナンスする需要が増加したことから、サービス販売の売上は堅調に推移いたしました。

設備工事では、物流センターや食品加工センターの冷凍設備工事の売上が伸びたことやショーケース関連の設備工事、大型冷蔵庫の売上が増加いたしました。

製造部門では、生産性の向上に努めるとともに、利益確保に向けて部品の共通化や原材料の見直しによるコスト低減を行いました。また、製造部門以外でも設備工事での原価低減活動や全社での更なる経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は８８億３千９百万円（前年同四半期比１８．５％増）、営業利益は５億２千７百万円（前年同四半期比３０．１％増）、経常利益は５億８千万円（前年同四半期比４４．３％増）、四半期純利益は２億７千３百万円（前年同四半期比６５．０％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は 334 億８千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億６千４百万円減少しております。

（流動資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産の残高は 229 億９百万円（前連結会計年度末は 231 億８千７百万円）となり、２億７千８百万円減少しました。これは主として現金及び預金の減少によるものです。

（固定資産）

当第１四半期連結会計期間末における固定資産の残高は 105 億７千３百万円（前連結会計年度末は 105 億６千万円）となり、１千３百万円増加しました。これは主として有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる機械装置及び運搬具の増加によるものです。

（流動負債）
当第１四半期連結会計期間末における流動負債の残高は120億４千４百万円（前連結会計年度末は123億７千８百万円）となり、３億３千４百万円減少しました。これは主として未払法人税等の減少によるものです。
（固定負債）
当第１四半期連結会計期間末における固定負債の残高は18億４百万円（前連結会計年度末は18億９百万円）となり、５百万円減少しました。これは主として長期借入金の減少によるものです。

（純資産）
当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は196億３千４百万円（前連結会計年度末は195億５千９百万円）となり、７千４百万円増加しました。これは主として四半期純利益の計上によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報
通期の業績予想に関しましては、本日同時開示しております「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（その他）に関する情報
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はございません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はございません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はございません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,591,186	10,942,152
受取手形及び売掛金	9,023,317	9,037,512
商品及び製品	829,441	893,710
仕掛品	550,570	583,947
原材料及び貯蔵品	875,179	999,751
その他	688,367	817,369
貸倒引当金	△370,379	△364,885
流動資産合計	23,187,683	22,909,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,634,831	2,603,617
土地	3,669,543	3,669,543
その他（純額）	1,049,518	1,082,018
有形固定資産合計	7,353,893	7,355,178
無形固定資産	92,347	89,210
投資その他の資産		
その他	3,181,758	3,194,354
貸倒引当金	△67,344	△64,764
投資その他の資産合計	3,114,413	3,129,590
固定資産合計	10,560,654	10,573,979
資産合計	33,748,337	33,483,538
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,521,013	8,509,271
短期借入金	314,794	296,681
未払法人税等	825,947	382,131
賞与引当金	692,355	995,830
製品保証引当金	192,106	184,280
その他	1,832,329	1,676,167
流動負債合計	12,378,546	12,044,362
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	561,587	524,147
退職給付引当金	624,992	652,469
役員退職慰労引当金	217,429	221,959
資産除去債務	93,998	94,386
その他	11,843	11,430
固定負債合計	1,809,850	1,804,393
負債合計	14,188,397	13,848,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	2,886,073	2,886,073
利益剰余金	14,241,371	14,271,168
自己株式	△350,646	△350,646
株主資本合計	19,536,989	19,566,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,384	175,032
為替換算調整勘定	△225,094	△207,885
その他の包括利益累計額合計	△79,710	△32,853
少数株主持分	102,660	100,847
純資産合計	19,559,940	19,634,782
負債純資産合計	33,748,337	33,483,538

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)
売上高	7,460,995	8,839,192
売上原価	5,540,059	6,801,066
売上総利益	1,920,936	2,038,125
販売費及び一般管理費	1,515,282	1,510,363
営業利益	405,653	527,761
営業外収益		
受取利息	771	536
受取配当金	15,019	17,549
受取家賃	18,495	23,397
その他	22,659	29,484
営業外収益合計	56,946	70,968
営業外費用		
支払利息	6,964	4,120
為替差損	47,998	9,340
支払補償費	3,817	3,691
その他	1,209	703
営業外費用合計	59,990	17,856
経常利益	402,609	580,873
特別利益		
貸倒引当金戻入額	25,011	－
特別利益合計	25,011	－
特別損失		
投資有価証券評価損	10,825	46,274
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	59,269	－
特別損失合計	70,095	46,274
税金等調整前四半期純利益	357,525	534,599
法人税、住民税及び事業税	275,902	371,173
法人税等調整額	△79,107	△105,388
法人税等合計	196,794	265,785
少数株主損益調整前四半期純利益	160,730	268,814
少数株主損失（△）	△4,981	△4,638
四半期純利益	165,712	273,453

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	160,730	268,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,573	29,647
為替換算調整勘定	8,197	20,035
その他の包括利益合計	△47,375	49,683
四半期包括利益	113,355	318,497
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,328	320,310
少数株主に係る四半期包括利益	△3,973	△1,812

（３）継続企業の前提に関する注記
当第１四半期連結累計期間（自　平成 23 年４月１日　至　平成 23 年６月 30 日）
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当第１四半期連結累計期間（自　平成 23 年４月１日　至　平成 23 年６月 30 日）
該当事項はありません。

（５）追加情報
当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号　平成 21 年 12 月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号　平成 21 年 12 月４日）を適用しております。